

令和5年12月8日

令和5年度緑化優良工場等中部経済産業局長表彰の受賞者を決定しました

- 中部経済産業局では、「緑化優良工場等中部経済産業局長表彰」について、令和5年度の受賞工場2件を決定しました。本表彰は、昭和58年度から実施しており、昨年度までに61工場が受賞しています。
- 本表彰制度は、工場緑化を積極的に推進し、工場内外の環境の向上に顕著な功績のあった工場等を表彰することにより、工場緑化の一層の推進を図ることを目的としています。工場緑化の推進は、工場と周辺環境の良好な関係を築くことで、工場と地域環境、社会との調和を促進するとともに、工場敷地内の環境改善にもつなげるものです。

1. 中部経済産業局長賞 受賞工場（2工場）（詳細は別紙参照）

- 株式会社関ヶ原製作所 本社工場（法人番号 4200001014710）
（所在地）岐阜県不破郡関ヶ原町2067番地



- 株式会社デンソー 大安製作所（法人番号 9180301014251）
（所在地）三重県いなべ市大安町門前1530番地



2. 表彰式

令和5年度 緑化優良工場等中部経済産業局長表彰式

日時：令和6年1月31日（水曜日）

13時30～14時00 株式会社関ヶ原製作所

14時30～15時00 株式会社デンソー 大安製作所

場所：中部経済産業局 2階大会議室

愛知県名古屋市中区三の丸二丁目五番二号

※取材をご希望の方は令和6年1月24日（水曜日）17時00までに

下記のお問合せ先までご連絡ください。

3. 参考（全国の受賞工場等）

- ・経済産業大臣賞 2工場
- ・経済産業局長賞 8工場
- ・一般社団法人日本緑化センター会長賞 8工場
- ・一般社団法人日本緑化センター会長奨励賞 5工場

（お問合せ先）

中部経済産業局 地域経済部 地域振興・人材政策課 浅野

担当：竹川

電話：052-951-2716（直通）

メール：bzl-tiikishinkouka-gyoumu@meti.go.jp



受賞工場の功績概要

株式会社関ヶ原製作所（岐阜県不破郡関ヶ原町）

操業開始年月：1946 年 11 月

主たる業種：生産用機械器具製造業

受賞歴：令和 4 年度一般社団法人日本緑化
センター会長賞



緑地と共に数多くの石のモニュメントが点在

- 創業の精神「会社はみんなのもの」を踏まえて、社員が豊かな会社生活を送れるよう、1988 年から長年に亘り工場内の緑地環境や彫刻等の美的景観を整備。2018 年 6 月からは、地域社会と共生する会社として、近隣の住民や関ヶ原町を訪れる観光客にも自然を楽しんでもらうことを目的とし、工場敷地内の緑地（芝生広場）や桜並木を開放するとともに、敷地内にカフェ（cafe mirai）、食堂（未来食堂）、美術館（せきがはら人間村生活美術館）等の設置を進めてきた。
- 「未来食堂」については、地元産の「今須杉」を建築材料として使用するとともに、食材についても地元産の野菜を使用、加えて食堂内で地元農家の野菜販売ブースを設置する等、地元の振興（地産地消）にこだわった運営を行っている。緑地環境の整備やメンテナンスについては、関係会社が担当しているが、近隣の高齢者を雇用し、雑草除去や枯葉掃除をお願いする等、地域への還元にも努めている。
- その他地域との交流の観点からは、芝生広場の利用案内を看板等で明示するとともに、桜並木に沿った園内通路を整備する等、利用しやすい環境を整備することで、地元住民に日常的に敷地内の芝生広場や桜並木を自由に散策できる場を提供している。イベントに関しても、コロナ禍前には、芝生広場において地元住民も参加のもとフリーマーケットを開催し、1 万人を超える来場実績がある。

ツツジや桜が咲く庭園と社員食堂



未来食堂



芝生広場と桜並木



グリーンオングリーンマーケット



株式会社デンソー 大安製作所（三重県いなべ市）

操業開始年月：1982 年 4 月

主たる業種：輸送用機器製造業

受賞歴：令和元年度一般社団法人日本緑化
センター会長賞



公道沿いのソメイヨシノ

- 「デンソーエコビジョン 2025」における「エネルギー1/2」「クリーン2倍」「グリーン2倍」の目標のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に向けて活動をしている。また、この活動を ISO14001 に位置づけ、実施状況の点検・フォローアップを行っている。
- 周囲を約 18 万㎡の高木樹林帯に囲われており、豊富な緑を有することから、オニヤンマ、ギンヤンマや様々な蝶を含む昆虫、ウグイスやメジロ、池の方ではカモなどの鳥類や猿まで多数の野生生物が確認できる。また、名所として約 300 mのソメイヨシノの並木と、同じく総長 1.2 kmに及ぶ桜の列植、また、南西公道沿いにはヤエザクラを 300m 植栽し開花期の異なる桜で従業員や地域の多くの人々が花見を楽しんでいる。
- 「出退勤時の気分転換」をコンセプトに、人の五感を刺激する植物を全ての通勤路に植栽するとともに、工場中央に配置するセントラルパークは、駐車場 1,500 ㎡を緑地へ造成し、四季の変化で五感を潤す緑化空間として、森ゾーン・花見ゾーン・四季ゾーン・芝生ゾーンの 4 つのゾーニングで「気軽に集い・くつろぎ・癒される憩いの広場」として整備している。また、地域との調和を狙いに工場側公道沿いの駐車場フェンスをセットバックし、四季を感じさせる植栽で敷地境界の改善を推進している。

地域に開放している桜トンネル



四季の変化を感じるセントラルパーク



植栽により駐車場と公道を柔らかく緩衝



渡り鳥の休憩場となっている調整池

